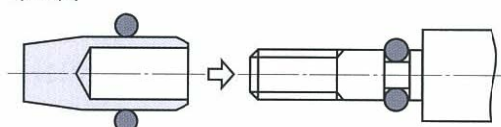


Oリングの取扱いと保管上の注意

Oリングの取扱い上の注意

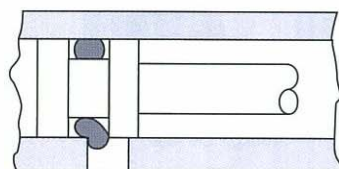
1. Oリングを装着する時にシャープエッジやネジ山などによりキズがつかないように、第8図の様な治具を用いて取付けて下さい。

第8図



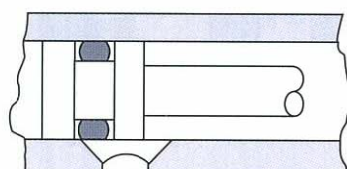
2. ピストンをシリンダーに挿入するときには、第9図の様に小孔のエッジでOリングをキズつけてしまうことがあります。第10-1～2図の様な設計をして下さい。

第9図



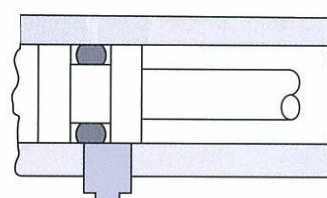
小孔のエッジでOリングにキズがつく

第10図-1



小孔の内面を面取りする

第10図-2



挿入時にプラグを取付け、挿入後はプラグを取外す

3. Oリングを装着するとき、ねじれない様にして下さい。
4. Oリングを装着するとき、Oリングとみぞに十分なグリース又はシール対象液体を塗布して下さい。
5. Oリングの再使用は原則としてしないで下さい。
6. Oリングを装着後、洗浄液で洗浄する場合、洗浄液とOリングの材料との相性を確認の上行って下さい。
7. 材料によっては、燃焼により有害ガスを発生するものがあります。Oリングの焼却処分はしないで下さい。

Oリングの保管上の注意

1. 直射日光を避け、湿度の低い場所で保管して下さい。
2. 使用直前まで開封しないで下さい。
3. 高温にならない、空気の流通の少ない場所に保管して下さい。
4. Oリングに負荷がかからない様保管して下さい。
5. 吊り下げた状態では局部的な変形がおきます。吊り下げないで下さい。
6. 塵埃の少ない場所に保管し、油が附着しない様に注意して下さい。